# 旧佐川邸の公園化を考える会 議事録

令和3年1月17日10時00分～12時00分＠上水南公民館

出席者：1６名（敬称略）

ランドスケープデザイナー　S、S

小平市議：竹井、橋本、水口、安竹（氏名順）

記・安竹

当日配布資料：趣旨説明1枚、アンケート調査用紙1枚

ランドスケープデザイナーのS氏とS氏にアンケートのたたき台を作成していただきました。

## **アンケート用紙、趣旨説明等について**

（S氏）アンケート用紙について、前段の部分、コンセプトに至る経緯のところを趣旨にもう少し反映できればと思っている。各項目についてご意見ありましたら。井戸のことも資料として添付し、必要性に関して理解につなげることもできれば。

（S氏）趣旨説明の方についてもご意見いただければ。

（以下、C:コメント、Q:質問、A:回答）

内容について

Q：最初から項目が上がっていると、自由な意見が出にくくなるのでは。

A：やっていることをご理解頂き、協力していただくという方向性のもの。

Q：会で話し合ってきた大枠をもう少しきっちり作ってアンケート提案した方がいいのでは。公園を作る目的が、憩える公園なのか、遊具を使って遊べるものにするのか、どの程度にするか。広場になると、ボール遊び、スケート遊びなどもある。「舗装された」とあると、コンクリート、アスファルトをイメージする。もう少しイメージが固まるようなものにした方がいいのでは。

また、佐川先生についてのことをもう少し出せたらいいのでは。たとえば、問３－２で、あてはまるものが一つしかない。確定的なことを書くと「言っていたのと違うではないか」となってしまうのでは。

A：舗装された通路というのは、誰でも使えるという視点でバリアフリーのことが入っている。多くの人に回答してもらうこととの兼ね合いで、そこまで限定していないところもある。

C：詳しく知りたい人には、たとえば、芝生広場とはなにか、舗装道路とは何かといったことを知りたければ、サイトの方に詳しく記載しておき、それを見てもらう方法もある。

C：バリアフリーということは、身体障害者の方も利用できる、普通の子も使えるような遊具もあるが、アスファルトや段差も視線に入れて調査していく必要があるかと思う。３－２の「先生の思想を公園計画に反映する」というところがあるが、私も良く知らないところがあり、先生の思想を聞いてみようと思っていたところがある。趣旨説明の方に、「先生はこういう考えを追及していた」というところを入れてほしい。先生の気持ちを反映する前提になっていくかと。

C：入口も、段差をなくし、車いすでも入れる、水飲み手洗い場を置くのであればそこまでいける、最低限の幅で舗装して車いすでも通れる、そういった利用の仕方は考えていく必要がある。

C：佐川先生の思想を反映する件については、日々鍛錬というところで、日々健康のために体を動かしたり人と触れ合うところでもっていけないか。子供が遊ぶのに何もなくてもよく、子どもが自分で発想してあそぶ、樹木と触れ合って遊ぶきっかけになるようなところにするなど、そういったことを前段に盛り込めればと。

C：車いすは、細かい粒子の砂利であれば大丈夫という話もあった。スケートボードが通れないような、細かい砂利の方がありがたいというような案もあった。

C：舗装道路は、経年劣化で段差が出てくることもあるので、長い目で見たことも考える必要がある。

C：普通に鍛錬・訓練している人は世の中にいっぱいいる。何が違うかというと、武術の合気について生涯をかけて鍛錬された、その他の方々と違う部分を木村先生に相談し、なにか明確化できればと思う。

C：佐川先生のそういう生き方が示されたら。

C：合気道と合気武術の違いが分からない。

Q：花壇とは。

A：藤の花などを、公園に設置し、季節を感じてもらうこと。憩いの場として。

Q：問１－１の顕彰碑については必ず作るものと思っているので、外した方がいいのでは。防災関係で防犯カメラは入れたら。

A：住宅地に近くプライバシーの問題も出てくるので。趣旨をしっかり決める必要がある。また市の体制も必要。地域の見守りカメラという意味合いで、毎日のように来る人が来ているといったような位置づけを追加するとよいかもしれない。地域の見守り自販機のようなものも考えられる。防犯という目的だけではなく少し広げていけば可能性はある。

C：防犯カメラ設置には異議を唱えている立場。

C：防犯カメラをつけたくはないが、つけざるを得ないところはあるかと。防犯上のことをクリアする上でも、防犯カメラはついていると。自立式の、人が来たときに動くような、2週間でデータが消えるようなもの、犯罪が起こったときには映像が残っているということができるので。

Q：土地を分割して一部売却してすぐに整備するか、売却せずなるべく整備を安く済ませて、後で植樹などしていくか、どちらがいいですかというような質問を加えては。

A：検討する

C：アンケートは用紙一杯あるので、趣旨の方に詳しめに書くと良いのかもしれない。

Q：問２－１と２－２の違いは。２－１のその他に２－２を含めても良いのでは。設問のスペース

A：２－１はふだんから利用するという内容だったので。

その他、回収方法等について

Q：回収は。

A: 各地区長さんに回収依頼する予定。国分寺側はメンバーでやる必要があるかも。

Q：（国分寺市の方）現時点で寄付金はどれくらい集まっているか。

A：遺言で遺贈された3000万円というお金はあるが、寄付を集めることはしていない。

Q：（国分寺市の方）3000万円だと希望通りにならない。国分寺市の方は公園がないので孫も楽しみにしている。ポストにチラシが入っていたので来られた。国分寺市報にも載せてもらいたい、寄付も並行してやってもらいたい。一本でも木を植えて頂きたい。一日も早く公園ができることを望んでいる。ご近所の意見では、細い道に住宅がびっしり詰まっているが、ほとんどの方が「うるさくなる」「防犯が」というところのことを言っているので、私が聞いてきた。小平市民ではないが寄付はできるので力添えができればと思っている。

A：寄付を集めるにあたって、こういう公園にしたいというところをまず作る必要があり、現時点で進めている。

Q：アンケートを配る際に、趣旨説明もセットにして配るのか。

A：そうだ。

Q：アンケートの主催者がないので掲載する。また、問１－１だが、必要な施設として１３のうち２つを選ぶことになっているが、３つの方がいいのでは。また、10番目に、防災施設として（井戸・倉庫）となっているが、これを分けて、災害用井戸、防災倉庫の二つに分けた方がいいのでは。市民の手で公園を作るということを強調した方がいいのではないか。

A：それも含める。

Q：国分寺側の配布はどうするか。町会長さんをご紹介いただけるか

A：（国分寺の方）名簿があるので回していただければ。佐川先生のことをよく知ってお世話になっている方は相当多いと思うがわからない。

Q：（国分寺市の方）国分寺市で通っていた生徒さんの名簿は。話は通っているか。

A：通っている。いま小平市の方に寄付を頂いても、使途の限定ができない。お金が集まる見込みはあるが。

Q：小平市の土地に国分寺市の公園がある（小平市の土地を借りている）。そこには井戸がある。それを考えるとここを国分寺市の公園にしたって良いのでは。

A：小平市はお金がないから自分たちで運動公園を作りたくなかった。要望があって国分寺との市境だったので国分寺がお金を出して作った。

C：国分寺市から要望を出してもらうことで小平市に動いてもらうことも検討を。

C：市境の付近なので、周知など国分寺市に働きかけることは良いこと。

C：国分寺からも支援をもらえるはず。国分寺市にふるさと納税でお金を入れ、建ててもらうこともあるのでは。

C：国分寺の自治会、町会長の方をご紹介いただければ。

C：国分寺の公民館などにチラシを置かせてもらう方法もある。

Q：市長候補者と意見を聞く場面を設定してもらいたい。会合で１０～１５分程度時間があれば。

A：すべての市長候補者との話し合いができれば。日程やメンバーはこちらで決めて知らせる。

C：アンケート回収は早めに回ることもできる。15地区あり、地区長さんに催促に行ける。

C：2週間くらいおいて回答してもらう、2月20日くらいをめどに集まってくれば、2月中に集計し、3月前半に結果が見えていれば。できれば持参してもらうよう書いておき、ブロックでまとめる人のところに持ってきていただき、ブロックでまとめたら市区町村のところに持って行ってくださいというルールを書いてもらう。集まりが悪ければ回収に行くなどの手段に。

C：2月6日の配るときに、地区長さん向けに「いつまでに回収してください」という説明の紙を用意してもらう。集まるだけ集まるやり方を。

C：アンケート配布・改修について、国分寺側は日程調整する。

サイトについて

C：ドメインはとりあえず安竹が設定した仮ドメインアドレスでいく。

<https://sagawa-park.yasu.tk/>

C：サイトに会議録掲載はOK。会社名は伏せる。

C：サイト運営の詳細はまた今後。

C：とりあえずアンケート用紙にQRコードを掲載し、サイトの方で詳しい説明が見られるようにしておく。

請願について

C：3月に「売却せず開発せよ」という請願を出すのがいい。

C：否決になると良くないのでは。

C：市長候補が賛成してくるようなら出す意味がある。

1. **宿題の確認**
* 公園にどれくらいの予算を考えているか担当課に確認する→今年4月からの年度には乗らない。市長が変わるので。予算化するなら、再来年度（来年令和4年4月から）の予算に乗せていくことになる。
* 設計の予算がそこなので、整備はさらにあと。
* 井戸設置について→国交省に電話で問い合わせた返事がこなかったので再度電話（12月18日）した。小平市が言うように、都市公園施行令に則れば、公園に市民が土地を借りて作ることができるものはいくつかあるが、井戸は地上に施設が出るものは認められないとの回答。小平市が市民の寄付を受けて、小平市が管理し、公園に井戸を作ることは問題ない。市民が井戸を作るために公園に土地を借りることはできない。クラウドファンディングで井戸を作るのは市が寄付を受けてくれないとできないということ。市民がクラウドファンディングでお金を集めて作ろうとしているときに、市が、お金がかかるといってそれを拒むことは問題。
* 市が積極的に受けていくスタンスでなければならないが、今の市長はそういう考え方がない。

## **宿題**

* 1月27日までにアンケート調査用紙を完成し、渡辺氏にお渡しする（配布が2月6日。回収は3月6日）。
	+ アンケート調査用紙に、主催者のことを入れる
	+ 問１－１で選択肢２つ選ぶことになっているが３つもしくは上限なしにする
	+ 問１－１で、⑩の防災施設を、災害用井戸、防災倉庫に分ける
	+ 問１－２で、人と会う視点の項目を入れる
	+ 防犯見守りカメラも施設の選択肢に入れることを検討する
	+ アンケート調査用紙で、調査目的のところ、「市民の手で公園を作る」と強調する
	+ 字が小さいので趣旨説明は2面（表裏）使う
	+ 場所の地図をチラシに入れる
	+ アンケート質問項目に「土地を分割して売却→公園が小さくなる」「売らずに広いまままずは安く整備」といった趣旨の質問追加（もしくは趣旨説明の方にそのあたりをもう少し分かりやすく追加など）を検討
* 国分寺もチラシを配って集める方法を決める（町会長さんのご紹介など頂ければ）
* 佐川先生の日々の鍛錬が、他の日々鍛錬されている方とどう違うのかを木村先生に相談しながらまとめる
* 市長候補者と話し合う日程とメンバーを決める
* 土地を売却せず開発してほしいという請願を出す（提出の締め切り2月5日まで）。署名は出した後に集めても良い。→安竹が原案作成し提示→各会派に根回しし、提出することが今後の推進に寄与するなら提出、ふるさと納税のこと、寄付のことも書く
* 2月7日9時～と3月7日13時～、会場を予約する（橋本）
* もうひとりの市長候補者にヒアリングの可否と日時を確認する（橋本）
* サイトのQRコードをS氏にお知らせする（安竹）
* サイトに情報を追加する（安竹）

## **次回**

3月7日13:00～15:00（全体）

以下の日時に市長候補者のヒアリングを予定。相手側の都合確認後確定。

2月7日9：00～12:00（一部のメンバー）